

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成7年11月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第65巻 第2号

ISSN 0525-2997

**vol.65 no.2**

# 物性研究

**1995 / 11**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 63 (1994), 1. のように引用して下さい。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journalの投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（*□*）、ゴシック（**□**）、ギリシャ文字（ $\gamma$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

## 掲 示 板

# 「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1995年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1996年3月末日
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。

紙数の許す限り掲載したいと思いますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。昨年場合は、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しました。尚、掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、体裁を整えていただく場合があります。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部、無料で差し上げます。

## 「講義ノート」募集

本誌では、大学院特別講義の「講義ノート」を随時、受け付けています。これまで一部の大学に限られていましたが、枠を広げ全国の大学で行われる、物性関係の興味ある講義のノートを掲載したいと思います。つきましては、関係各位の方々に講義ノートの作成について御尽力をお願いします。

通常、大学院生にノートをとっていただき、講師のチェックの後、掲載しています。講師には別刷50部を寄贈し、ノート作成者には薄謝と別刷20部程度を差し上げています。講師の了解などはこちらで交渉致します。また、退官記念講演なども、歓迎します。内容と記録の可能性を考慮して、推薦もしくは投稿下さるようお願いいたします。

## 科研費総合研究・一般研究の 報告書の転載について

「物性研究」では、科研費総合研究及び一般研究の報告書を本誌に転載したいと思います。研究成果報告として、立派な報告書が作成されても、限られた部数が関係者のみに配布される状況では、誰もが手軽に見ることが出来ません。また、そういった形の報告書は四散して失われる危険も大きく、本誌のような定期刊行物に掲載されれば、公開、保存のいずれにおいても意味があります。つきましては、ご投稿あるいはご推薦下さいますようお願いいたします。

既に印刷済みの報告書2部を、転載を希望される部分を明示の上、お送り下さい。別刷はお渡ししないことになっておりますが、もし希望の場合は、部数をご連絡下さい。詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

〒606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会  
Tel. (075)753-7051, 722-3540  
Fax: (075)722-6339  
E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

教官公募

防衛大学校数学物理学教室

1. 公募職名・人員 助手 1名
2. 所属 数学物理学教室（物理）
3. 専門分野 広い意味での物性物理学（理論）
4. 教育担当科目 理工系学生の物理学実験指導及び物理学演習を担当
5. 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期
6. 応募資格 博士の学位を有するか、又は取得見込みの方
7. 提出書類 (1) 履歴書（写真貼付） (2) 現在までの研究概要 (3) 論文リスト (4) 主要論文の別刷 (5) 研究計画（1600字以内） (6) 推薦書（自薦の場合は本人に関する意見を述べ得る人の氏名と連絡先） (7) 健康診断書
8. 公募締切 1995年12月31日（日）必着
9. 宛先・問合せ先  
宛先 〒239 神奈川県横須賀市走水1-10-20  
防衛大学校数学物理学教室  
主任 種田 庸二  
TEL (0468)41-3810 ex2205  
FAX (0468)44-5902  
問合せ先 尾高 一彦  
TEL (0468)41-3810 ex2200  
e-mail odaka@cc.nda.ac.jp
10. その他 封筒に「応募書類在中」と朱書し、書留で送付のこと

当教室において平成6年度に物性物理学（実験または理論）の助手の公募致しました。この際は実験物理学の方を採用致しました。前回応募された理論の方も是非応募下さい。

## 編集後記

初めて編集後記を書きますK. S.です。どうぞ宜しくお願い致します。「物性研究」WWW ホームページの試験公開では、本誌の主旨に沿うものとして、物性関係のいろいろな情報をお伝えするよう努力してありますが、ここでは改めて、基研の共同利用サービスとしてビジター制度と地域スクール制度がある事をお伝えしたいと思います。というのはこれらは、手続きが複雑でもなく、競争もほとんどなく、新しくもないのに、物性関係の利用が非常に少なく、勿体ないと思うからです。ビジター制度は基研に1週間以内滞在して、所員、客員、その他と議論したり、研究したりする事をサポート（旅費・滞在費）するもので、3週間前迄に申し込めば間に合います。地域スクール制度は全国どこでも複数の機関の人々が参加する研究会の、講師・参加者の旅費援助をしましょうというもので、2, 5, 9月末頃に申し込めば、それぞれ2ヶ月後から年度末までの計画に間に合います。詳しくは、基研共同利用掛（075-753-7008）にお尋ね下さい。

(K. S.)

---

物 性 研 究 第 65 卷 第 2 号 (平成 7 年 11 月号) 1995 年 11 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒 606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒 606 京都市百万辺交叉点上ル東側  
TEL(075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒 606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

---

## 編集後記

初めて編集後記を書きますK. S.です。どうぞ宜しくお願い致します。「物性研究」WWW ホームページの試験公開では、本誌の主旨に沿うものとして、物性関係のいろいろな情報をお伝えするよう努力してありますが、ここでは改めて、基研の共同利用サービスとしてビジター制度と地域スクール制度がある事をお伝えしたいと思います。というのはこれらは、手続きが複雑でもなく、競争もほとんどなく、新しくもないのに、物性関係の利用が非常に少なく、勿体ないと思うからです。ビジター制度は基研に1週間以内滞在して、所員、客員、その他と議論したり、研究したりする事をサポート（旅費・滞在費）するもので、3週間前迄に申し込めば間に合います。地域スクール制度は全国どこでも複数の機関の人々が参加する研究会の、講師・参加者の旅費援助をしましょうというもので、2, 5, 9月末頃に申し込めば、それぞれ2ヶ月後から年度末までの計画に間に合います。詳しくは、基研共同利用掛（075-753-7008）にお尋ね下さい。

(K. S.)

---

物 性 研 究 第 65 卷 第 2 号 (平成 7 年 11 月号) 1995 年 11 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊 〒 606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所 〒 606 京都市百万辺交叉点上ル東側  
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒 606-01 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

### 物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内  
電話 (075)722-3540, 753-7051  
FAX (075)722-6339



物性研究 65-2 (11月号) 目次

○講義ノート	
「第40回 物性若手夏の学校」(1995年度).....	173
○掲示板.....	311
○編集後記.....	314

物性研究 65-2 (11月号) 目次

○講義ノート	
「第40回 物性若手夏の学校」(1995年度).....	173
○掲示板.....	311
○編集後記.....	314